

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 30日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	活動スペースを確保するため、テーブル等を片づけている。	子供達の成長もある為、療育の内容等を検討していく必要がある。
	2	職員の配置数は適切である	3	3		人員基準は満たしているが、十分ではない為、職員の体制を確保していけるよう検討していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3		事業所内に段差等はないが、十分とはいえないので改善に努めていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	会議を開き、改善、情報共有に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		改善できるところは速やかに改善する様、努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにて評価を公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		現在、第三者による評価を実施していない為、今後、検討をしていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3		資格取得等、研修参加をしているが、十分に参加できているとは言えない為、外部研修等、幅広く参加できる様、整えて行く。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	契約、計画書の更新時等、御家族様からニーズを聞き取りをしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		朝礼時等、その日の利用者に対しての活動内容を検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3		児童によってこだわり等があり、同じ活動内容になることもある為、興味の幅を広げていけるよう、工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	外出の機会を作るなど取り組んでいる。	外出が無い日等、活動の幅を広げていけるよう、検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		半年に一回を基本に個別支援計画の見直しを行い、その時の必要な内容を考え、支援を実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	朝礼時にミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼時に振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	リズム、支援記録を活用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	半年に一回を基本に見直しをしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 30日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	学校送迎時に先生と情報の共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4		情報共有をできていない所もある為、今後、円滑に行えるよう改善する必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		相談支援事業所が入っている利用者に関して、相談員の方と情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5		研修に参加する機会が少ない為、参加できる様、検討をしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		外出時等に機会はあるものの、機会が少ない為、検討をしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		管理者が参加しているが、積極的にはできていない為、検討する必要がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	リズム、送迎時等に情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		具体的な取り組みを行えていない為、今後必要があれば、検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約時に説明をしている。事業所内に掲示をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3		御家族様から相談があった際に行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	保護者会を開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	苦情があった場合は適切に行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	年間行事計画書を作成して配布をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報に関して、鍵付き書庫に保管をしている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		地域の方を招待をする機会は少ない為、機会等を設けて招待できるよう、検討していきたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 30日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		現在、身体拘束を行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギー表を作成しおやつ提供時に留意している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		